

# 自己評価・自己点検のまとめ

## 令和元年度

【平成31年4月1日から令和2年3月31日まで】

当園では、日々の保育を通して、子ども達の安全と健やかな成長を見守り、一人ひとりの成長を助長することを目的とし、それとともに保育教諭等のスキルアップに努めています。保育教諭等が定期的にカリキュラムマネジメントに取り組み、保育の見直しをしたり、研修会に参加する等キャリアアップに努め、一人ひとりの職員が自覚をもって、自己研鑽に努めています。それとともに、自己評価と上司の評価を実施し、様々な分野でチェックリストを作成・活用し、良かった点や今後の改善点等、教員同士話し合いをもっています。これらを自己評価園内研修録としまとめたものを掲示いたします。

保護者の皆様や地域の方々との連携をさらに深め、子ども達の大切な命を預かっているという使命感を全職員が共有していけるようにこれからも努めてまいりたいと思います。

(まとめ)

#### 1. 安全管理・危機管理について

園内外の危険箇所を把握し、すぐに修繕するように努める。子ども達が安全な環境下で遊べるように職員一人一人が安全面に気を配るよう意識する。また、避難訓練では、あらゆる災害を想定し、どんな時でも迅速に行動できるように訓練を行い、改善箇所がある場合は、職員間で話し合い次へとつなげていくようにする。

#### 2. 衛生の保持

感染症の流行時期や、登園基準表を把握したり、子ども達が自分たちでできる感染予防策を見に付けられるよう伝えていくとともに、職員は園内外の玩具・遊具等の消毒や施設内の消毒等も徹底していく。

#### 3. 職員のチームワークの大切さについて

しっかりと伝達を行い、チームワークを今よりも大切にしてより良い職場環境に努めていく。また、自分の役割をしっかりと果し、一人ひとりが責任をもって取り組めるよう意識を高めていく。

#### 4. 情報管理について

園児等の情報管理は漏洩しないように徹底しているが、常に情報が最新の情報であるか等を職員間で把握していき、共通理解を図るようにしていきたい。

#### 5. 園内外の研修のかつようについて

様々な分野の研修会に参加しスキル向上をしながら、研修会で学んできたことを園内研修や会議等を通して、職員に伝え日々の保育に生かせるようにする。

当園では子供たちの健やかな成長と安全確保、また、職員一人一人の教育・保育の質の向上を図るためにチェックリストを活用し、良かった点や改善点などを再確認しております。

今後益々地域に根ざした施設となるべく、皆様に安心して預けるような環境を整え、子どもたちのために職員一同努力していききたいと思います。

## 1. 評価項目の達成及び改善対策

評価項目	改善対策
<p>安全管理・危機管理について</p> <p>子ども達が安全で安心な生活が送れるよう努めながら、避難訓練などを通し、子ども達自身の危機管理能力の向上に繋がるような心がけをする。また、様々な状況下を想定して職員も迅速に対応できるようにしておく。</p> <p>ケガ対策について</p> <p>事故は不注意で起こることが多いため施設内外の設備、固定遊具などの点検をしっかりと行うとともに、職員間も危機管理・安全管理を意識し保育環境を整えたいと保育を行う。</p>	<p>危機管理マニュアルを見直し、園内外の危険な箇所・安全箇所を職員間でしっかりと把握し子ども達が安全で楽しく遊べるよう常に意識をしながら保育する。避難訓練やり方、様々な災害を想定しての訓練も行い、子ども達自身に自らの生命を守る力がつくことをねらいとした指導計画を立てたり、職員が、迅速に行動できるよう実践していく。</p> <p>事故やけがなどが発生した場合は、「ヒヤリハット報告書」や「事故報告書」に記入している。そして毎日のミーティングで報告して情報共有を行うとともに改善策を検討し、再発防止に取り組んでいる。</p>
<p>個別配慮児保育の対応について</p> <p>個別配慮児の特性を把握し職員間でも話し合ったり、家庭とも連携を取ったりしてきたが、個々への上手な対応ができていなかったように感じる。</p>	<p>個別配慮の必要な子どもに対して、研修に参加するよう努めたり、医療機関や専門機関から助言を受け保育を行った。更に園全体の話し合いの中で、注意点や対応ポイントを他の職員とも共通理解を図ったり、保護者とも連携を取ってきたが、今後も一人ひとりにあった対応を専門機関とも連携を図り行っていきたい。</p>
<p>職場内のかかわりについて</p> <p>報連相は責任もって、確実に伝える。</p> <p>ホワイトボードや放送にての伝達などもうまく活用しながら、行っていくうちに、少しずつ伝達ミスが無くなってきているが、伝達事項などを確実に引き継ぐことの大切さを念頭に置きこれからもコミュニケーションをしっかりとっていきたい。</p>	<p>職員間の報告・相談・連絡の徹底をきちんと行う。クラス間や、学年間特に複数担任の学年はメモに残したり工夫をしながら、申し越し伝達をうまくしていくことを意識していきたい。</p> <p>また、今の伝達方法を活用しながら、引き続き連携をしっかりとっていききたい。</p>
<p>小学校との連携や就学に対する指導計画について</p> <p>就学に向けてのアプローチカリキュラムをもとに、これまでの経験や小学校との意見交換での課題を踏まえ、子ども達が交流する中で、小学校へ行きたいという意欲を持たせた。</p>	<p>小学校との連携については、近郊の学校との情報交換会や参観日に行き、子ども達の様子を聞いたり、アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを基に、連携についての話し合いをおこなったりしてきた。また、就学に向けての情報交換会では園児の様子等について意見交換を行っているが、今後も小学校との連携を深めていきたいと思う。</p>

## 自己点検の分析

### ① 食物アレルギー

しっかりとアレルギー児の把握をしながら、給食の先生と連携をし、除去食を提供している。

エピペンを持ってきている子は、緊急時の対応などもしっかりと聴取し、対応策は職員全員が把握している。

### ② 安全・衛生管理

日常における安全・衛生管理には十分に注意を払っているつもりでいたが、玩具の消毒やじゅうたんの消毒等しっかりと行っていこうと思う。

これまでも、各種訓練を実施し、意識・対応の向上を図っていたが、一人ひとりが意識をもって取り組むことが必要と感じる。

また、「監視カメラ」の導入と共に園内外の状況を事務室で常時捉えているが、不審者等の対応にも迅速に対応できるよう、園外の異変にもアンテナを張ってみていこうと思う。

### ③ 保護者との関わり

常日頃から、保護者とのコミュニケーションは保護者と関わる上で一番大切な事です。どんな小さなことでも対応の良し悪しで保護者に不信感を与えないよう、きちんと信頼関係を図っていかねばなりません。その場合、個人的な見解で対応するのではなく、園の方針に従い、保護者を理解しその思いに寄り添い傾聴していきます。決して礼儀を忘れない事を念頭に置いてこれからも保護者との信頼関係を築いていこうと思います。

### ④ 保育環境整備について

クラスの掃除や整理整頓は各自で行うが、各リーダーが声を掛けたり、細かいところを職員でカバーし合いながら行っているが、クラスの保育環境を子ども達が楽しめるように喜んでもらえるようにと工夫している先生もいるので、お互い刺激し合ったり研修に参加したりしてよい保育環境を作っていってほしい。

